

ハイブリッド情報端末“愛・MATE”の特徴

▶ 愛・MATE オレンジ、愛・MATE ブルー共通の特徴

- ・ OS はマイクロソフト社の Windows Mobile™ 2003 Second Edition Software for Pocket PCs^{(*)1}を採用した汎用性の高い技術仕様
- ・ 博覧会を意識した従来の PDA や携帯電話にない先進的でユニークなボディデザイン、ユーザーインターフェース

▶ 愛・MATE オレンジのみの特徴

- ・ 第3世代携帯電話(3G)ネットワーク通信機能^{(*)2}を内蔵した PDA としては国内初
- ・ au の CDMA 1X WIN^{(*)3}、無線 LAN^{(*)4}、Bluetooth^{(*)5}などの複数の無線通信手段の利用が可能
- ・ PC の環境をモバイルで利用可能なフルブラウザ、メーラー、アドレス帳を搭載
- ・ 端末管理システムとの連動により、アドレス帳のオンライン登録などが可能

用語解説

*1 Windows Mobile™ 2003 Second Edition Software for Pocket PCs :

Microsoft 社が 2003 年 6 月に発表した携帯電話や PDA 向け OS。携帯機器の機能・性能の向上に合わせ、動画や音声を再生する Windows Media Player 9 や、写真画像を扱うソフトが内蔵されている。Bluetooth や無線 LAN などの無線通信技術も標準でサポートしている。

*2 第3世代携帯電話(3G):

ITU (国際電気通信連合)によって定められた「IMT-2000」標準に準拠したデジタル携帯電話のこと。高速なデータ通信やマルチメディアサービスなどの提供が可能。

*3 無線 LAN:

ワイヤレス LAN と呼ばれ、2.4GHz 帯の電波を使い、無線通信でデータの送受信をする。IEEE 802.11b の規格では、11Mbps の速度で 50m ~ 100m の距離にある端末間で通信を行なうことができる。

*4 CDMA 1X WIN:

au (KDDI・沖縄セルラー)が提供する携帯電話サービスで、CDMA2000 1X EV-DO 方式を利用して下り最大 2.4Mbps の高速なデータ通信が可能。通信速度は上下非対称で、上りの最高速度は 144kbps。

*5 Bluetooth:

ブルートゥースと呼ばれ、Ericsson 社、IBM 社、Intel 社、Nokia 社、東芝の 5 社が中心となって提唱している携帯情報機器向けの無線通信技術。ノート PC や PDA、携帯電話などをケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりが可能。2.45GHz 帯の電波を利用し、1Mbps の速度で通信を行なうことができる。

*6 ミューチップ:

日立製作所が開発した無線タグ用の超小型非接触 IC チップ。縦横 400μm サイズで、128 ビットの読み出し専用のデータを製造段階で記録している。今回、愛・地球博入場券にも採用されている。μ-chip およびミューチップは、株式会社 日立製作所の登録商標。